英語科・外国語活動単元系統表(中学1年)

中学1年			5年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること	6年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
課名と内容	主な言語材料	主な目標	単元名	表現	語彙	単元目標		単元名	表現	語彙	単元目標	
Let’s Start The Alphabet, 教室で使う英語, こんなときはこう言おう, 身の回りの英語, あいさつ	Good morninng See you.	●小学校で体験した外国語活動と中学校での英語学習との円滑な接続を図る。 ●身の回りの単語やあいさつ表現などを通して，英語の音への意識付けを図る。 ●アルファベットや簡単な単語の筆記及びその音声指導を通して，英語学習への意識付けを図る。	Lesson 1 （2） Hello!	Hello. What’s your name? My name is… Thank you. Goodbye.	hello,name,what, your,my,is,you, thank,goodbye	●積極的に挨拶をしようとする。 ●英語での挨拶や自分の名前の言い方に慣れ親しむ。 ●世界には様々な言語があることを知る。	○“Hello. Nice to meet you. ”初対面 “Hi”親しい間柄、 “Hello. ”一般的な呼びかけ など、場面により挨拶の違いを知らせる。 ●中学校でも、小学校で慣れ親しんだあいさつを取り入れる。					
Pre-Lesson 自己紹介をしよう, 友達と自己紹介をしよう, あいさつをしよう, 身に着けるもの	How are you?	●小学校で体験した外国語活動と中学校での英語学習との円滑な接続を図る。 ●自己紹介を通して中学校での英語学習への動機付けを図る。	Lesson 2 （2） I’m happy.	How are you? I’m fine/happy.	happy,fun, sleepy,hungry, how,are,I,am, (I’m)	●表情やジェスチャーをつけて相手に感情や様子を積極的に伝えようとする。 ●感情や様子を表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。	○アイコンタクトや言葉の大きさ・抑揚などとともに、表情やジェスチャーを活用することで、相手により自分の思いが伝わることを理解させる。 ●小学校で学んだ表現の確認と定着を図る。					
1 好きなものは？ I Like Soccer. タクとナナとホール先生が，好きなもの（スポーツ，食べもの）について話し合う	I like soccer Do you like soccer? Yes.I do. No,I don’t. I do not like soccer.	●S+V+Oの文を用いて，自分の好き／嫌いなスポーツ，食べものを相手に正しく伝えることができる。 ●相手の好きなものについて尋ねたり，適切に応答することができる。 ●強勢や疑問文と平叙文の語尾の上げ下げに関する知識を身につける。	Lesson 4 （5） I like apples.	I like apples. I don’t like bananas. Do you like baseball? Yes,I do./No,I don’t.	I,you, like,do, yes,no,not, apple(s),strawberry(ies),cherry(ies), peach(es),grape(s), kiwi fruit(s), lemon(s),banana(s) pineapple(s),orange(s),melon(s), ice cream,milk, juice,baseball, soccer,swimming, basketball,bird(s), rabbit(s),dog(s), cat(s),spider(s)	●好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝えようとする。 ●好きなものや嫌いなものを表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。 ●日本語と英語の音の違いに気付く。	○会話をする上で一番基本的で、身につきやすい質問文であるので、様々な場面で何度も使用する機会をつくる。 ○会話の間かで複数形や単数形の形で何度も聞かせ耳慣れさせる。 ●動詞や場面設定を増やし、少し様々なコミュニケーション活動につなげる。	Lesson 1 （4） Do you have “a”?	Do you have “a”? Yes, I do. /No, I don’t.	アルファベットa～z, do, you, I, have, yes, no, don’t, one ～ thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, hundred,	●積極的にある物を持っているかどうかを尋ねたり答えたりしようとする。 ●31～100の数の言い方やアルファベットの小文字、あるかどうかを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ●世界には様々な文字があることを知る。	○会話をする上で一番基本的で、身に付きやすい質問文であるので、様々な場面で何度も使用する機会をつくる。 ○文字指導に関しては、書き方や綴りを覚えさせるのではなく、文字を見慣れさせる手立てや工夫をする。 ○数を使う場面は日常生活において多いので、数字の聞き取りや発音に慣れさせる。 ●動詞や場面設定を増やし、少し高度なコミュニケーション活動につなげる。
WT 数字 0～100までの数字		●0～100までの数字を習得し，適切に運用することができる	Lesson 6 （5） What do you want?	What do you want? The `A’card,please.	アルファベットA～Z one～thirty, what,do,you, want,please.	●積極的にアルファベットの大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。 ●アルファベットの文字とその読み方とを一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ●身の回りにはアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。	○発音とつづりの関係を理解させることをねらいとせず、文字指導については、音声によるコミュニケーションを補助するものであることを踏まえておく。 ○zは、アメリカ英語とイギリス英語では発音が異なり、英語にも多様性があることに触れる。 ○アルファベットの言い方と大文字を一致させたり、数字の言い方に慣れさせることをねらいとし、様々な方法でアルファベットの大文字に慣れ親しませるようにする。					
2 先生に聞いてみよう Pets and Hobbies タクとナナとホール先生が，ペットや趣味について話し合う	How many books do you have?	●単数と複数の概念を理解し，a/anや-sを使い分けることができる。 ●How about you? や What do you ～? を用いて相手に尋ねたり，適切に応答することができる。 ●How many ～? を用いて数を尋ねたり，適切に応答することができる。 ●疑問詞whatとHow manyの文構造や接続詞のandとbutの使い方を理解する。	Lesson 3 （4） How many?	How many pencils/dogs/cats? One,two,three,… tweenty.	how,many, one～twenty, cat(s),dog(s) One,two,three,… tweenty.	●積極的に数を数えたり、尋ねたりしようとする。 ●1～20の数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ●言語には、それぞれの特色があることを知る。	○“How many～？”は、本来なら場面に応じて、“How many pencils are there on the desk?”などという表現になるが、自信をもってコニュニケーションできる活動にするため、“How many～？”という表現で行う。 ○数を使う場面は日常生活において多いので、数字の聞き取りや発音に慣れさせる。 ○2つ以上の場合には、[z]や[s]などの音が語尾につくことに気付かせ、聞き慣れさせることで親しませる。 ●“How many pencils～” に続く語句を加え、文として理解させ、数に関するコミュニケーション活動を発展させる。					
			Lesson 6 （5） What do you want?	What do you want? The `A’card,please.	アルファベットA～Z one～thirty, what,do,you, want,please.	●積極的にアルファベット大文字を読んだり、欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。 ●アルファベットの文字とその読み方とを一致させ、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ●身の回りにはアルファベットの大文字で表現されているものがあることに気付く。	○日本語の中の外来語と、そのもととなる英語の音の違いに気付かせる。					

英語科・外国語活動単元系統表(中学1年)

中学1年			5年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること	6年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
課名と内容	主な言語材料	主な目標	単元名	表現	語彙	単元目標		単元名	表現	語彙	単元目標	
A 指示通りに動いてみよう 命令文を使ったジェスチャーをする	Stand up. Don't run.	●命令形の文を用いて，指示もしくは依頼する言い方(「～してください」「～しないでください」)を身に付ける。										
3 初めまして Hello, Everyone. タクとナナが，転校してきたジャックに好きなことなどを尋ねる	I am.... Are you...? I am not....	●I am ～. You are ～. を用いて，自分や相手のことを表現することができる。 ●Are you ～? を用いて，相手に尋ねたり，適切に応答することができる。 ●be動詞(am, are)の文構造や，一般動詞とbe動詞の違いを理解する。						Lesson 7 (6) We are good friends.	We are good friends. We are strong and brave.	peach, boy, monkey, dog, bird, friend(s), strong, brave, good, fine, happy, hello, let's (let, us), go, we, are, I, am, how, you, please, here, see, OK	●積極的に英語で物語の内容を伝えようとする。 ●まとまった英語の話を聞いて、内容がわかり、場面にあったセリフを言う。 ●世界の物語に興味をもつ。	○聞いている人が理解できるようにこれまでに慣れ親しんだ語彙や表現で工夫させる。 ○聞く活動を工夫することにより、オリジナルの話の大体をつかむようにさせる。 ●代名詞を理解し、be動詞を使って、より詳しく自分や友達のことなどを紹介あるいは説明させる。
WT 1週間 曜日／1週間にすること		●曜日名を習得し，適切に運用することができる。 ●各曜日にすることを聞き取ったり，英語で表現することができる。	Lesson 8 (5) I study Japanaese.	I study math on Monday. What do you study on Tuesday?	Sunday～Saturday, Japanese,English, math,social, studies,science, music,P.E,arts, and crafts,home, economics, calligraphy, study,on,I,you, what,do	●時間割について積極的に尋ねたり、答えたりしようとする。 ●時間割について表現や尋ね方に慣れ親しむ。 ●世界の小学校の学校生活に興味をもつ。	○教科名、曜日等を扱うときは一度に多くの語彙が必要になるので、繰り返し聞かせたり言わせたりして慣れ親しませる。	Lesson 6 (5) What time do you get up?	I get up at seven. What time do you go to bed?	I, you, do, get, up, eat, lunch, breakfast, dinner, take, a, bath, go, to , bed, home, watch, clean, TV, play, piano, study, what, time	●積極的に自分の一日を紹介したり，友達の一日を聞き取ったりしようとする。 ●生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ●世界の様子に興味をもち、世界には時差があることに気付く。	○時刻の表現に加えて、生活での動作を表す表現はかなり高度であるので、活動は抵抗を減らせるために表現はいくつかにしぼる。 ○1日の流れやそれぞれの動作について聞き慣れさせる。 ●小学校で活動したことを思い出し、日記が書ける程度に表現力を身に付けさせる。
C1P 自分のことを伝えよう 自分のことを伝える文章を書いて発表する		●自分の好きなものや所属する部活動などを1文ずつ書くことができる。 ●自分のことについて，3～5文程度のまとまった文章を書くことができる。 ●書いた英語の文章をクラスの前でスピーチとして発表する。 ●友達の発表を聞いて理解する。										
4 新しい友達 Nice to Meet You. ジャックがタクに，インド出身の友達マヤを紹介し，3人で浅草を訪れる	Maya is.... Is she/he...? What is...?	●人を紹介したり，あいさつをしたり，出身地を尋ねたりする表現を用いて会話をすることができる。 ●be動詞isの用法や，疑問詞whatを用いた文の文構造を理解する。	Lesson 7 (4) What's this?	What's this? It's a piano.	what,is,this,it, cat,mat,cap, tomato, pineapple, guitar,banana, piano,baseball	●あるものについて積極的にそれが何かと尋ねたり、答えたりしようとする。 ●あるものが何かと尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ●日本語と英語の共通点や相違点から、言葉のおもしろさに気付く。	○「何?」と尋ねられて、身の回りにあるものを英語で言わせたり、発音の違いにも気付かせたりする。 ○英語でも同音異義語があることや普段使っている用語にも和製英語があることにも触れ、日本語と英語の類似点から言葉の面白さに気付かせる。 ●「何?」と尋ねられて、単語だけでなく答え方にも注意して返答できるようにさせる。 (1)文章として様々な返答ができる。 (2)数えられるもの、数えられないものの区別を意識して返答ができる。					
WT 私の気持ち 自分の気持ちや状態を表す表現		●自分の気持ちや状態を表す表現を覚え，活用することができる。										

英語科・外国語活動単元系統表(中学1年)

中学1年			5年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること	6年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
課名と内容	主な言語材料	主な目標	単元名	表現	語彙	単元目標		単元名	表現	語彙	単元目標	
5 ホール先生の家族 Ms. Hall's Family タク，ナナ，ジャック，ホール先生が，ホール先生の家族の写真を見て話し合う	My father works.... Does she/he...? Who...?	●3単現の-sや-esを用いて，相手にわかるように説明することができる。 ●Does she/he ～? を用いて尋ねたり，適切に応答することができる。 ●疑問詞whoを用いて会話をすることができる。 ●3単現と疑問詞whoを用いた文の文構造や人称代名詞he/sheの使い方を理解する。										
A 何時ですか？ 時刻を尋ねる／世界の時差を知る	What time...?	●What time ～? を用いて会話をすることができる。 ●時刻に関する表現を理解する。 ●時差に関する知識を得る。						Lesson 6 (5) What time do you get up?	I get up at seven. What time do you go to bed?	I, you, do, get, up, eat, lunch, breakfast, dinner, take a bath go, to , bed, home, watch, clean, TV, play, piano, study, what, time	●積極的に自分の一日を紹介したり，友達の一日を聞き取ったりしようとする。 ●生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 ●世界の様子に興味をもち、世界には時差があることに気付く。	○時刻の表現に加えて、生活での動作を表す表現はかなり高度であるので、活動は抵抗を減らせるために表現はいくつかにしぼる。 ○1日の流れやそれぞれの動作について聞き慣れさせる。 ●小学校で活動したことを思い出し、日記が書ける程度に表現力を身に付けさせる。
6 アメリカの中学校 Junior High School in America ナナとタクとマヤとジャックが，ウェブサイトを通してアメリカの中学校生活を知る TT 校舎を案内しよう 校舎を案内する	Nana and Taku are / go.... Where...? Tell us about....	●複数主語を用いて，相手にわかるように説明することができる。 ●疑問詞whereやS+V+O（代名詞）を用いて，相手に尋ねたり，適切に応答することができる。 ●複数主語，疑問詞whereを用いた文，S+V+O（代名詞）の文構造や代名詞they, weの用法を理解する。 ●アメリカの中学校生活を理解する。 ●道案内の場面で使われる特有の表現を用いて会話をすることができる。						Lesson 4 (4) Turn right.	Where is the station? Go straight. Turn right/left.	turn, right, left, go, straight, stop, to, where, park, school, flower, shop, hospital, book, store, restaurant, supermarket, fire, station, police, convenience, department, post, office, station,	●積極的に道を尋ねたり，道案内したりしようとする。 ●目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ●英語と日本語とでは，建物の表し方が違うことに気付く。	○「どこ？」「右、左」など簡単な道案内の表現に慣れ、建物の表し方が日本語と違うことを知らせる。 ○相手のことを考えながら、道案内のやりとりをすることの大切さに気付かせる。 ●基本的な表現（turn right, turn left他）に加え特有な表現（across, pass)を用い、より詳しく道案内ができるようにする。
								Lesson 5 (4) Let's go to Italy.	I want to go to France. Where do you want to go? Let's go.	I, you, do, like, want, to, go, where, play, see, eat Italy, Japan, China, Korea, Brazil, Egypt, Australia, France, India, America, Spain	●自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。 ●行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ●世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。	○いろいろな国について調べたり話し合ったりしながら、お互いの思いを知ることで楽しい雰囲気をつくる。 ○チャンツなどを通して、“I want to go to ～.”の表現に慣れ親しむ。 ●不定詞の導入には欠かせない表現であり、中学校では更に動詞や語彙を増やし、様々なコミュニケーション活動に発展させる。
C2P ○○さんを紹介しよう 家族や友達などを紹介する文章を書き，発表する		●人を紹介するときの表現を習得する。 ●人を紹介する5～6文程度のまとまった文章を書くことができる。 ●クラスの前で口頭発表することができる。 ●友達の発表内容を正しく聞き取る。 ●スピーチの初めと終わりの表現を知る。										
R ホール先生の1日 日常生活を説明する		●日常生活を表す文を読んで，内容を正しく理解し，時系列に並べることができる。 ●1人称の文を3人称に書き換えることができる。										

英語科・外国語活動単元系統表(中学1年)

中学1年			5年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること	6年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
課名と内容	主な言語材料	主な目標	単元名	表現	語彙	単元目標		単元名	表現	語彙	単元目標	
7 日本のお正月 New Year お正月にナナの家に遊びに来たマヤとジャックが，書き初めに挑戦する	I can.... I cannot.... Can you...? When...?	●can, can’tを用いて，できることとできないことを相手に正しく伝えることができる。 ●canや疑問詞whenを用いて相手に尋ねたり，適切に応答することができる。 ●canや疑問詞whenを用いた文の文構造を理解する。 ●日本の伝統文化である書き初めや日本とアメリカの正月の食文化について理解する。						Lesson 2 （4） When is your birthday?	When is your birthday? My birthday is March	when, is, your, birthday, my, January, February, March, April, May	●積極的に誕生日を尋ねたり，誕生日を答えたりしようとする。 ●英語での月の言い方や，誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ●世界と日本の祭りや行事に興味をもち，時期や季節の違いに気付く。	○月、日、曜日を扱うときは一度に多くの語彙が必要になるので、時間をかけ何度も繰り返して練習させる。まず自分の誕生月や行事等で関連性のある語から親しませる。 ○My name is ～ だけでなく、I’m ～と言ってもいいことに触れておく。 ●会話の中にスムーズに取り入れていけるようにスペルとともに定着させる。
								Lesson 3 （4） I can swim.	I can/can’t swim. Can you cook? Yes, I can./No, I can’t.	can, can’t(can not), play, swim, cook, ride, unicicle, table tennis, badminton, basketball, soccer, baseball, recorder, piano, a, the	●積極的に友達に「できること」を尋ねたり，自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしようとする。 ●「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。 ●言語や人、それぞれに違いがあることを知る。	○「できる」「できない」は自己紹介でも使える大切な表現である。小学校では簡単な問答形式で慣れ親しませる。 ○児童が自信をもって自分ができることを紹介したり、互いに温かく認め合ったりする活動を工夫する。 ●小学校で学習する内容や活動を把握し、お正月の伝統文化にふれる場面などのより様々な場面で表現できるように発展させる。
A だれのもの？ whoseを用いて持ち主を尋ねる	Whose...?	●疑問詞whoseを用いて会話をすることができる。 ●疑問詞whoseと所有代名詞を用いた会話を理解する。 ●様々な独立所有代名詞を正しく理解する。										
WT 季節と月／月日の言い方		●行事が行われる時期を説明する文の内容について，正しく聞き取る／読み取ることができる。 ●日付の言い方や書き方，月名や序数を理解する。						Lesson 2 （4） When is your birthday?	When is your birthday? My birthday is March eighteenth.	when, is, your, birthday, my, January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 序数（自分の誕生日）	●積極的に誕生日を尋ねたり，誕生日を答えたりしようとする。 ●英語での月の言い方や，誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ●世界と日本の祭りや行事に興味をもち，時期や季節の違いに気付く。	○月、日、曜日を扱うときは一度に多くの語彙が必要になるので、時間をかけ何度も繰り返して練習させる。まず自分の誕生月や行事等で関連性のある語から親しませる。 ○My name is ～ だけでなく、I’m ～と言ってもいいことに触れておく。
8 初めての点字 Braille マヤの家を訪れたジャックとタクが，ユニバーサルデザインのシャンプー容器や点字について話し合う	I am playing.... Are you playing...? Which...?	●現在進行形を用いて日常生活の行動を表現することができる。 ●現在進行形や疑問詞whichを用いて尋ねたり答えたりすることができる。 ●現在進行形と疑問詞whichを用いた文の文構造を理解する。 ●電話でよく使う表現を理解する。 ●シャンプーボトルの刻みの意味と，点字の仕組みを理解する。										
TT ファストフード店で ファストフード店で注文・会計をする		●ファストフード店の客と店員になったつもりで，買い物の会話をすることができる。 ●ファストフード店での注文時によく使われる語句や， How much ～? の表現を理解する。										
C3P フォトニュースを作ろう 4Wに答える形で写真の説明を付ける		●When, Who, Where, What can, What is の疑問文に答える形で写真に関する文を書くことができる。 ●それらを5～7文程度の文章にまとめることができる。 ●まとめた英文をフォトニュース形式にして，クラスの前で発表する。										

英語科・外国語活動単元系統表(中学1年)

中学1年			5年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること	6年				連携のポイント ○ 小学校の授業で気をつけること ● 中学校の授業で気をつけること
課名と内容	主な言語材料	主な目標	単元名	表現	語彙	単元目標		単元名	表現	語彙	単元目標	
R An All-purpose Cloth 風呂敷の用途や利便性を説明する		●120語程度の伝統文化に関する説明文を読んで，概要を把握する。 ●風呂敷の用途や利便性を理解する。										
9 オーストラリアからの手紙 A Letter from Australia オーストラリアを訪れているジャックからタクのもとに手紙が届く	I played.... Did you...? I went to....	●過去形を用いて自分のことを表現したり，相手に尋ねたり，適切に応答することができる。 ●過去形を用いた文の文構造を理解する。 ●過去形を用いた手紙文の内容について，正しく読み取ることができる。 ●オーストラリアの地理，自然や動物の生態を理解する。										
TT 会話をつなげよう 会話をする上で知っておくと便利な表現		●英語の言語活動を通して，会話をつなぐ表現を理解し，それを実際に活用することができる。										
C4P Show&Tellをしよう 自分の好きなものや大切なものなどを紹介する文章を書き，発表する		●好きなものや大切なものを紹介する文を書くことができる。 ●それらを6～8文程度の文章にまとめることができる。 ●クラスの前で口頭発表することができる。 ●友達の発表内容を正しく聞き取る。										
R Who Is Joey's Favorite Girl? 少年の恋の相手を少女が推理する物語		●200語程度の物語を読んで，概要を把握する。 ●登場人物の関係性を正しく理解し，感情を込めて音読することができる。										
B1P 手紙を書こう １年で習った表現を使って，お世話になった外国人の先生に手紙を書く		●例を参考にしながら，外国人の先生に手紙を書くことができる。 ●英語で手紙を書くという活動を通して，英文手紙の書き方を学び，これまでに学んだ語彙，表現方法，文法などについての理解と定着を深める。										